

事例発表④

本人の状態像に応じた支援のあり方

岩見沢市の就労準備支援事業



平成29年度就労準備支援事業従事者養成研修

平成29年10月10日（火）

岩見沢市生活サポートセンターりんく

センター長 湯澤 真吾

岩見沢市の概要



岩見沢市を
ご紹介します！



ひゃっぴい
体操普及員
イワくん



1 位置

- 札幌から北東に40km、高速道路で30分、JR特急で25分
- 新千歳空港からクルマで60分
- 夕張市・滝川市と同じ空知総合振興局管内に位置

2 人口

- 83,297人・41,945世帯 (H29.06.30)
- 道内12位、空知管内1位
- 生活保護受給者数等 2,087人・1,569世帯 (H29.03)
- 保護率 2.49% (H29.03)
⇒(参考)全道 3.11%程度・全国1.69%

3 特色

- 道内有数の豪雪地帯
⇒ H23~27年度平均降雪量 7.70^{cm}
⇒ H23年度はとくに多くて 11.11^{cm} (隣の札幌は3.99^{cm})
- 米・白菜は全道一の作付面積・収穫量
- 空知総合振興局や税務署など国・道の機関が所在

4 名物・名所

- 野外ロック・フェスティバル JOIN ALIVEの開催(毎年7月)
- いわみざわ公園バラ園(630品種 8,800株 4万^m2)

平成28年度岩見沢市生活サポートセンターりんく

1 自立相談支援事業

(1) 相談支援

- ① 相談受付 … 来所・電話・訪問による受付、巡回相談あり
- ② 相談支援 … 相談者の複合的な課題を整理して支援プランを作り、本人に寄り添って支援
必要に応じて関係機関と連携
- ③ 就労支援 … 応募書類・面接の助言指導
ハローワークの出張相談による職業適性検査
求人検索端末機の設置
- ④ 巡回相談 … 市役所 毎月第1・3火曜日 10時～12時
ハローワーク 毎月第2・4火曜日 10時～12時
- ⑤ 弁護士相談 … りんくに弁護士の方が来て、各種法律相談を実施。
毎月第2水曜日 9時30分～11時30分(3枠)
- ⑥ 住居確保給付金の申請受付、就労訓練事業の紹介など

【実績】平成28年4月～平成29年3月

新規相談者 194人(来所+電話) 新規相談利用者 133人
 プラン作成者 68件(新規28・継続40)
 就労開始 37人(離職し、再就職者も含む)

(2) 関係機関との連携

大中小3つの会議で関係機関の連携を図っています。

	大	中	小
名称	自立支援ネットワーク会議	ネットワーク会議 専門部会	自立支援調整会議
参加機関数	15	5+(議題担当課)	5
開催頻度	年1回	月1回	週1回
おもな会議内容	・各機関の業務紹介 ・困難事例の検討	・生活困窮者支援を通じて見えてきた不足している社会資源について検討	・支援プラン等の検討 ・業務打合せ

本人の状況に応じた支援

2 住居確保給付金の相談受付

【支援の内容】

支給要件を満たす人に、家賃を一定期間支給します(上限あり)。

【支給要件】

- ① 住居喪失者又はそのおそれのある人
- ② 離職から2年以内の65歳未満
- ③ 預貯金等が基準以下
- ④ 熱心に求職活動を行う 等

【支給額】生活保護による住宅扶助額が上限額(例 単身世帯 30,000円)

【支給期間】基本3か月・最長9か月

3 就労準備支援事業 (実施回数: 231回・延べ参加人数: 1506人)

【支援の内容】

求職活動を直ちに開始できない人(生活困窮者・被保護者)の就労意欲を高め、就職活動の知識を得ることができる各種プログラムを実施します。

【岩見沢市で実施しているプログラム】

- ① 生活自立支援(たのしみ隊・まなび隊)
- ② 社会自立支援(たいけん隊・しごと見学隊)
- ③ 就労自立支援(はたらき隊・パソコン隊・はたらき研)

4 その他

【生活保護受給者の就労支援・就労準備支援事業】

稼働判定会議で就労支援事業・就労準備支援事業の利用を決定された方に対し支援を実施。9名が就労につながった。

【無料職業紹介】

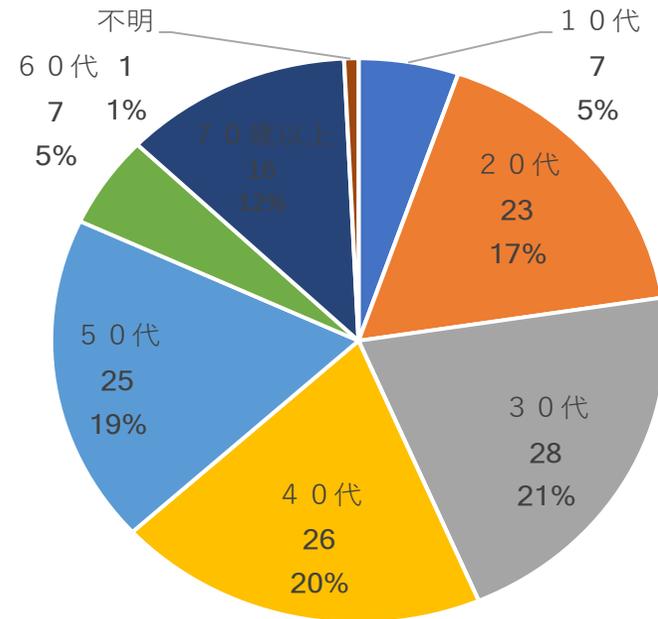
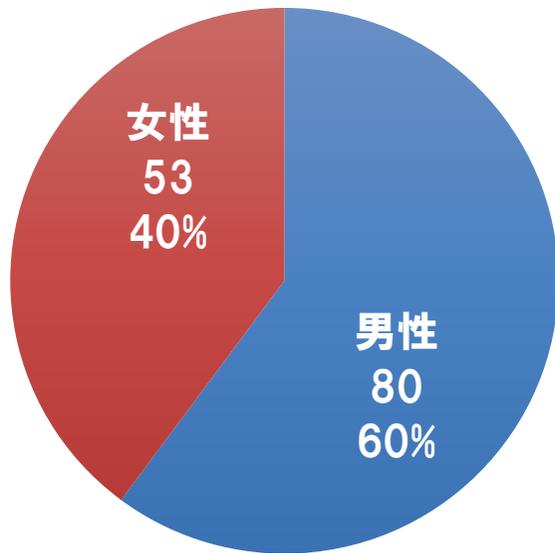
平成28年4月より、りんく独自の求人を開拓。職業紹介を実施した。16事業者(42求人)が登録し、20名が就労につながった。

【福祉サービスへつなぎ】

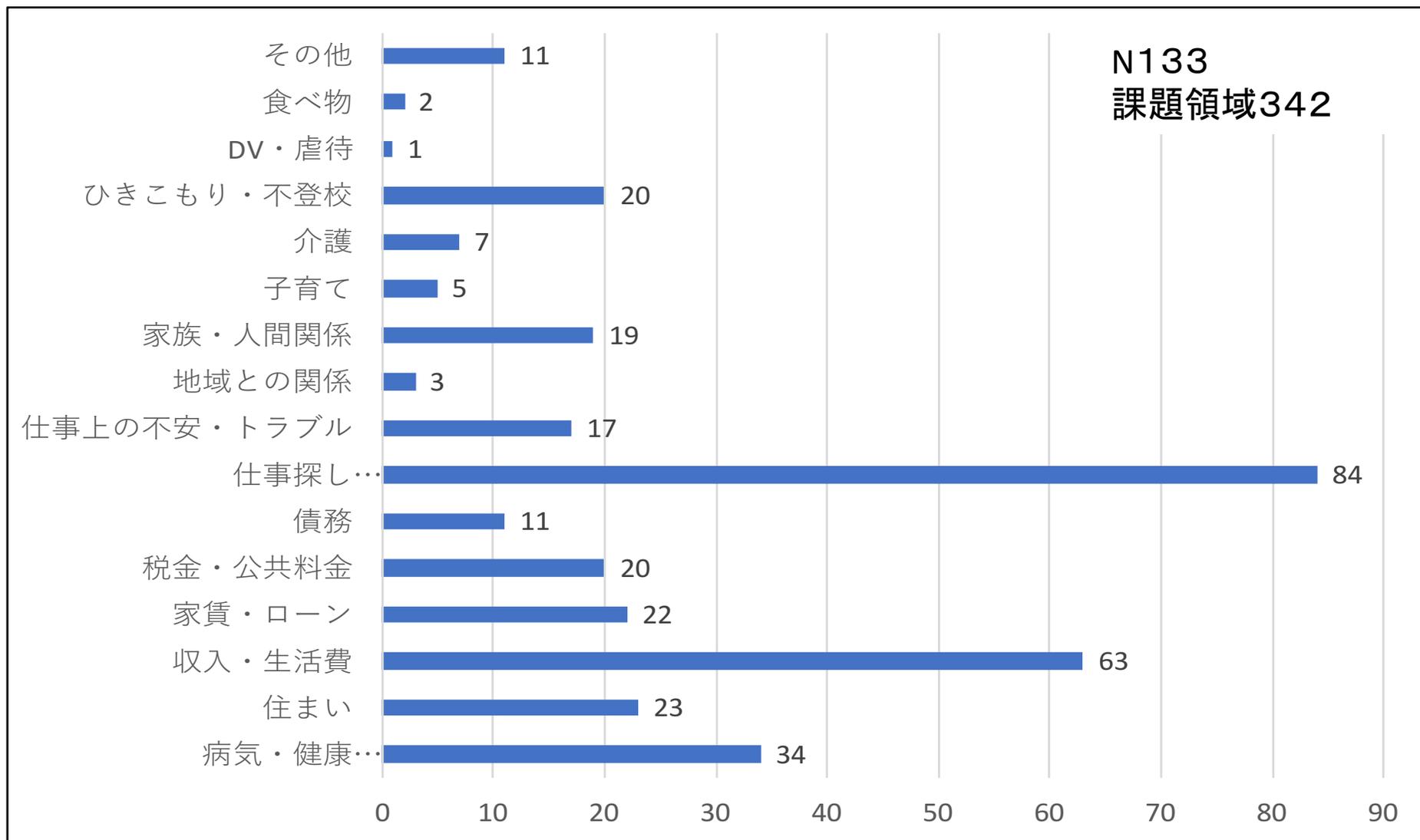
障がい手帳の取得6名(内被保護者2名)
 障がい者相談支援事業所へのつなぎ 10名(内被保護者6名)
 福祉就労の開始 11名(内被保護者2名) ※就労者の数とは別
 障がい年金の取得 4名(内被保護者0名)

岩見沢市生活サポートセンターりんく 生活困窮者（本人特定）の性別・年齢

平成28年度生活困窮者相談者数：133名



岩見沢市生活サポートセンターりんく 生活困窮者（本人特定）の課題



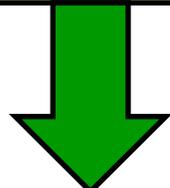
“就労に関する相談”の入口から出口まで①

自立相談支援事業

入口

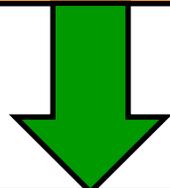
就労に関する相談

入口



この距離は近いのかな？と最初は思いました

就労支援 ・ 就職活動



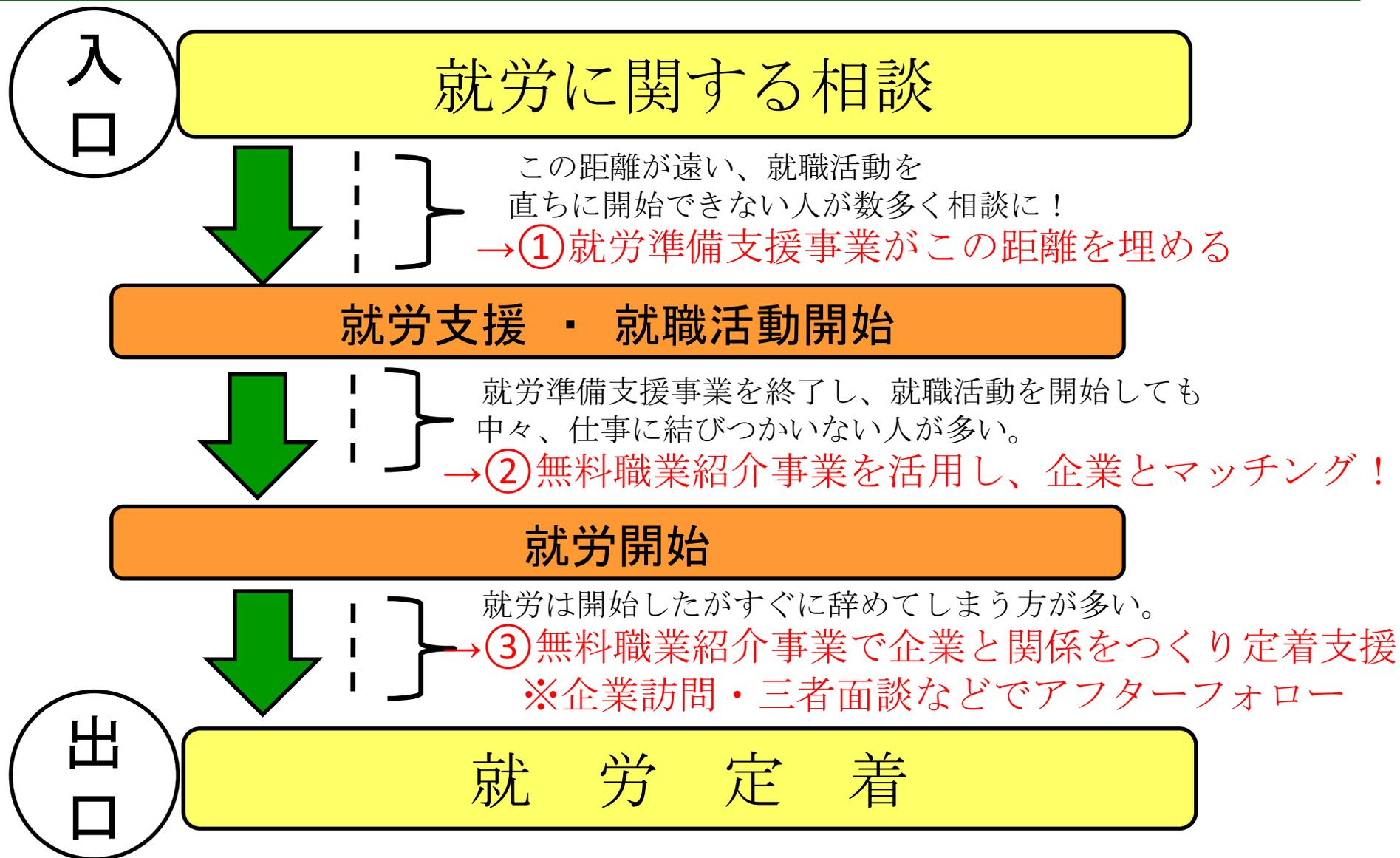
就労開始が出口だととらえていました

出口

就 労 開 始

出口

“就労に関する相談”の入口から出口まで②



（就労支援に至らない）就労準備支援の対象者像

家から出ない・出られない
他人と関わる機会がない

就労から
遠い

文字の読み書き・計算が苦手

他人（知らない人）とコミュニケーションとることが苦手
体力的な不安



職種に関する知識がない

就職活動の方法がわからない
自己理解がすすんでない
仕事に対し自信がもてない

就労に
近い

パソコンを使うことができない

その人に合った・その人に必要な支援メニューを選択して訓練
⇒ 訓練後は一般的な就労支援・就職活動に参加できる！



就労準備支援プログラム

就職活動を直ちに開始できない人に対して、各種プログラムにより支援します

Step1

生活自立支援訓練
たのしみ隊
まなび隊

【たのしみ隊】 毎週木曜日：9：30～12：00 ※居場所機能
レクリエーション活動を通して、生活習慣の改善や他者との関係づくりを学びます。
(例) 家で手軽に作れる料理教室・ゲーム大会・ヨガ・地域づくりの講話・季節の行事など

【まなび隊】 毎週月曜日：10：00～12：00
基礎学力に自信がなく不安を感じている人が、
常用漢字、熟語、ことわざの意味、四則計算などを学びます。

Step2

社会自立支援訓練
たいけん隊
しごと見学隊

【たいけん隊】 不定期（月2～3回程度）※地域との連携
地域イベントやプロジェクト活動に参加して、就労に必要とされる自信、経験及び能力を身につけます。

(例) 商店街の各種活動、健康まつり、麦酒祭・まちなか朝市・プロジェクトクリスマス・
教育大学あそびプロジェクトなど

【しごと見学隊】※地域との連携
職場を見学し、職種のイメージづくりを行います。
(例) トッキュー・4条ホテル・清掃業者・A型事業所など

Step3

就労自立支援訓練
はたらき研
はたらき隊
パソコン隊

【はたらき研】 毎週火曜日 14：00～16：00
「はたらくこととは、そもそもどういうことなのか？」3月1クールで、参加者同士やゲストの話しをきいたり・知識を身につけながら、働くことについて考えます。

【はたらき隊】 随時
希望に応じて、職場体験を実施します。(飲食店・ホテルの客室清掃など)

【パソコン隊】
パソコンの基本操作について、個々の習熟度に応じて学ぶプログラムです。

就労準備支援プログラムの様子

就労準備支援プログラム

たのしみ隊



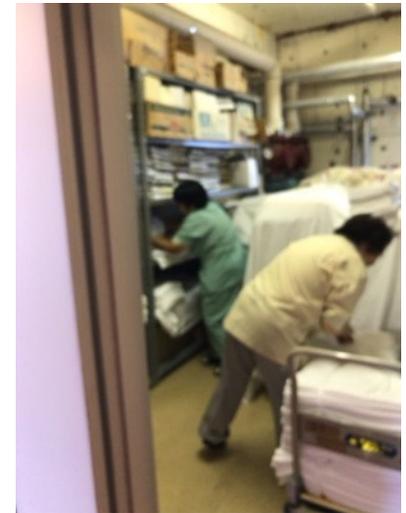
しごと見学隊



はたらき研



はたらき隊
(ジョブトレ)



まなび隊



たいけん隊



パソコン隊



平成28年度実績
○参加者:67名
(内被保護者22名)
○就労決定者:20名
(内3名被保護者)



たのしみ隊ヨガ
講師は地域の方



キャンドルナイトの準備
教育大学・商店街とのコラボ



まちづくり座談会



福祉の事業所の見学



まなび隊ブックカフェ



STワークスでの職場体験



ホテルの室内清掃見学



にんじんの選果場見学



健康まつり



商店街の清掃活動



スーパーのバックヤード見学

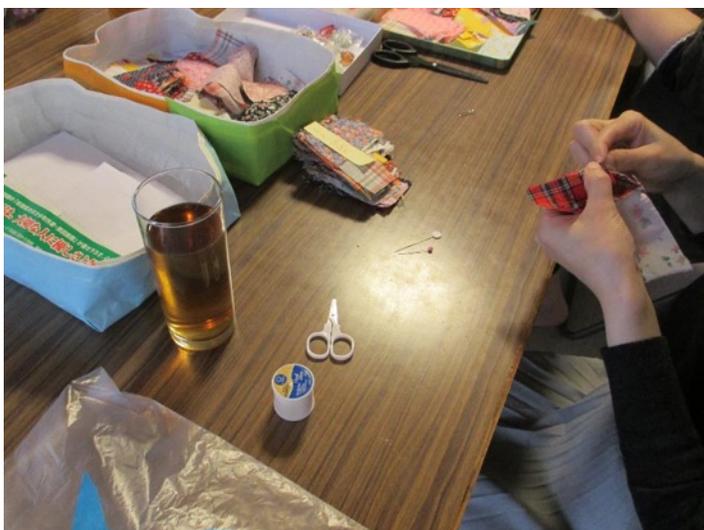
その他のプログラム①



○りんくの就活セミナー（第2・4水曜日）

3ヵ月間（全6回）をクラス制で実施します。就職活動の基礎知識や、ビジネスマナー、履歴書作成、面接練習などを行うなかで、具体的に就職活動へ動き出せる力を身につけます。また、月2回の就活セミナーと並行して、ハローワークの興味検査や、しごと見学隊への参加を行うなかで、自身に向いている職種を探ります。3ヵ月目には、希望職種をもとに、実際の職場でのジョブトレーニングを実施します。

（現在、5名の方が参加。1名が就労）



○りんくのミニ女子会（月2回木曜日）

就労準備支援プログラム（10名程度）には人が多くて参加できない。男性が苦手でプログラムに参加できないという声が複数あったことから、女性相談員が担当する、女子会を昨年秋から実施。塗り絵や裁縫などに個人作業に取り組みながら、参加者同士で少しだけコミュニケーションをとる練習・月2回通う練習をする、プログラムです。

その他のプログラム②



○地域企業からの有償仕事体験

平成29年度になり、地域企業（徒歩5分圏内）から、有償の仕事体験の機会を頂いて実施しています。お金をもらい、仕事に参加することで、参加者の責任感や就労意欲が喚起されています。また、就職活動の費用や就職が決まった際の、健康診断費用や必要備品の購入などに頂いたお金を利用している方もいます。

- ・キャンドルナイトスタッフ補助（栄通り商店街）
- ・行者ニンニクの選別・洗浄作業（商店街事業所）
- ・パソコンでのデザイン補助作業（商店街事業所）
- ・朝市での来場者へのお米のアンケート（商店街事業所）
- ・カフェ店内での接客（B型事業所）



○りんく祭り（8月26日実施）

就労準備支援プログラム参加者が中心となり、地域の小学生を対象にした、お祭りを企画・実施しました。約3月の期間で、企画を考え、予算立てをして、準備を参加者が主体的に行うことで、一人ひとりが、グループ内で明確な役割を持つことができました。当日は、154名の方が来場し、ワークショップや商店街と連携したスタンプラリー、出店を楽しんでいきました。「りんくのある街PV」を制作し、放映しました。PVの制作を通し、岩見沢の街の良さを再発見し、就労だけでなく、この街が好きになる・住み続けたくなくなったという声も参加者からは多く聞かれました。

プログラムカレンダー（平成29年9月）

2017年 9月	まなび隊 (月曜/午前)	パソコン隊 (月曜/午後)	次クールの はたらき研は 決まり次第 お知らせします	たのしみ隊 (木曜/午前)	【りんく開館時間】 月～金/9:00～17:30 (土・日・祝・年末年始は お休み)	
	10:00～12:00	14:00～16:00		30～11:30		
月	火	水	木	金	土	日
				1	2 10:00-14:00 しごと見学隊	3
4 10:00-12:00 まなび隊(スタッフの 話) 14:00-16:00 パソコン隊	5	6 10:00-12:00 就活セミナー (オリエンテーション)	7 9:30-11:30 たのしみ隊 (美味しんぼクラブ) 14:00-16:00 女子会	8	9 12:15-17:15 たいけん隊 (アールブ リュット)	10 10:00-13:00 たいけん隊 (アールブリュッ ト)
11 10:00-12:00 まなび隊(学習) 14:00-16:00 パソコン隊	12	13	14 9:30-11:30 たのしみ隊 (セルフケアプログラ ム) 14:00-16:00 女子会	15	16 12:00-18:00 たいけん隊 まちなか朝市	17 14:20-16:00 たいけん隊 (百餅祭り大綱)
18 敬老の日 ★りんくはお休みです★	19	20 9:00-10:00 たいけん隊 栄通り商店街清掃活動 10:00-12:00 就活セミナー① (ビジネスマナー)	21 9:30-11:30 たのしみ隊 (映画鑑賞) 14:00-16:00 作業チーム	22	27	24
25 10:00-12:00 まなび隊(学習) 14:00-16:00 パソコン隊	26 14:00-16:00 はたらき研①	27 10:00-12:00 就活セミナー② (はたらくルール)	28 9:30-11:30 たのしみ隊 (あそびPJ準備) 14:00-16:00 作業チーム	29	30	10/1 7:30-18:00 たいけん隊 (パン甲子園)

りんくの就労支援（無料職業紹介）



【業務の内容】

平成28年4月より、りんく独自の求人を開拓、求人情報を掲示し、職業紹介を行っています。紹介するだけでなく、早期就職、就労定着を目的に、事業所様・求職者双方へのサポートを実施しています。

① 採用面接前の職場見学・体験

採用面接前の職場見学や1週間から1月の期間での職場体験をお願いしています。体験期間終了後、参加者へ応募の意思・事業所へ採用の意思を確認し、採用面接を行います。体験期間中は、参加者の負担を軽減するため自宅から勤務場所までの、往復の交通費・昼食代（500円程度）の負担を事業所様にお願いしています。

② 採用面接へのりんく支援員の同行

③ 採用後の職場定着支援

事業所に訪問し、本人・現場責任者双方から、就労の様子について聞き取りを行います。三者面談も定期的を実施、



【平成28年度実績】

平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間で、16社が事業所登録。42求人あり、20名が採用に至っています。

【平成29年度】

10社41求人、5名（内被保護者3名）が採用につながっています。その他、中心市街地にある事業所から、有償のジョブトレーニング（即時就労が難しい方のイメージ）もいくつか頂き、スタートしています。



岩見沢市の特徴

1 グループワークがメイン

生活困窮の要因の一つに「孤立・孤独」があるのでは？

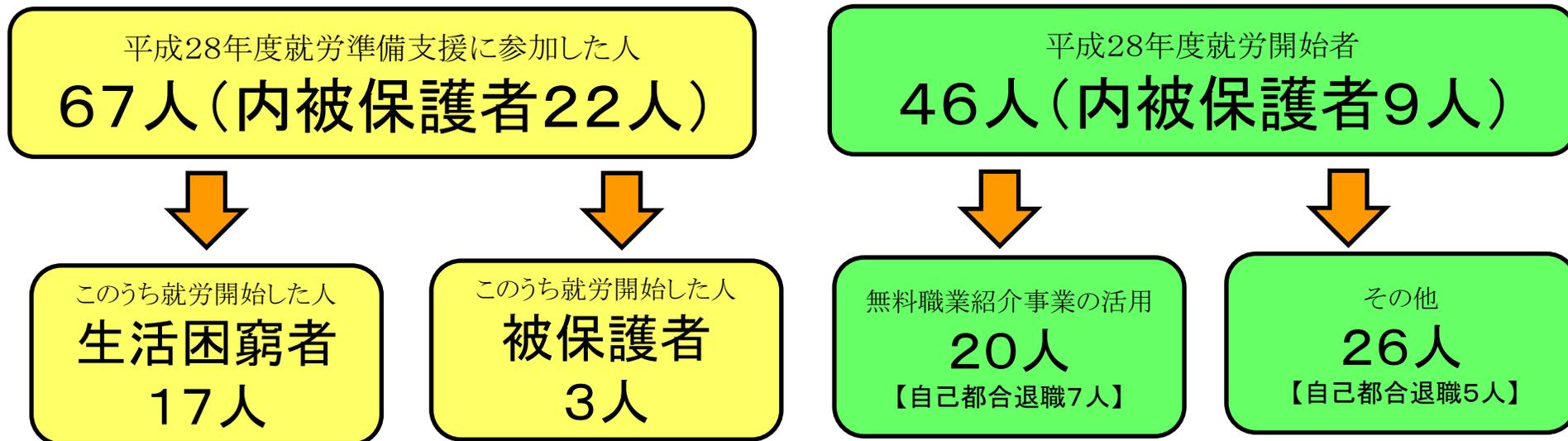
- ⇒ マンツーマン支援ではなく、グループ支援を採用
- ⇒ 相談相手となる友達ができる！

2 プログラムの種類が多い

利用者個々人の悩み・課題・自己評価は様々

- ⇒ 可能な限りプログラムの種類を多く用意
- ⇒ プログラムの様子から能力を多角的に再評価をする

りんくにおける就労支援の実績



○就労準備支援事業実施状況

年度	実施回数	参加人数
平成25年度	90回	86人
平成26年度	315回	1289人
平成27年度	194回	973人(被保護584)
平成28年度	231回	1506人(被保護672)

参考資料

～地域との連携について～



地域との協働による就労支援

地域とは？

- ①岩見沢全域？・中学校区？・小学校区？
- ②専門機関との連携ばかり考えてしまい、地域のイメージも、何かと大きく考え、ボンヤリとなる。
- ③りんくでは、開設時より、顔の見える・名前のわかる「歩いて10分」のところを地域として捉え、そこへのアプローチに集中！

地域との連携①

商店街の飲み会で、生活困窮者ってどんな人？・引きこもりってどんな人？

講師として地域の方に来てもらい、実際にふれあう機会をつくろう！

- 歯と健康の話し（山本歯科）
- 姿勢から考える歯と健康の話し（キラクル）
- 浴衣を着てちょっと歩いてみよう（椿屋）
- 営業の仕事（アクサ生命・商工会議所）





地域との連携②

商店街の理事長から、商店街の活性化事業を手伝ってくれる人がいないんだよなあ～。

社会参加やりんくの外でボランティア活動が必要な人がいる。
りんくに来ている人と活動を一緒にしてもらい、知ってもらおう！

- ・成人式・ぱん甲子園
- ・百餅祭・彩花祭・麦酒祭・まち中朝市など





岩見沢市生活サポートセンター

地域との連携③

仕事のイメージ・働くイメージを持ってない若者がたくさんいる。

商店街の方々に相談すると
職場体験・職場見学を受入れてしてくれるところが・・・

- キャンドゥでの接客・バックヤード作業
- JAであえーる店でのバックヤード見学
- 太陽技研（A型事業所）・まちなかディでの介護ボランティア
- レストランコロナでの職場体験などなど



地域との連携④

職員会議で「定期的に、簡単なボランティア体験をできる場が欲しい」

商店街の方々に相談すると
20年ぶりに栄通り商店街で、清掃活動が復活！（毎月1回）
毎回20名くらいの方が参加し、商店主同士の交流の場にも！
長期間使用していなかったガードレール一体型花壇の活用

商店街の
環境美化に！





地域との連携⑤

平成29年度栄通り商店街事業方針

- (1) 若者世代を「企画」段階から巻き込んだ、商店街活性化事業の展開
- (2) 組合員同士の定期的な交流
- (3) 商店街の環境整備・美化
- (4) 引きこもり等社会的弱者の社会参加活動・居場所づくりの応援

実施事業

引きこもり等社会的弱者の社会参加活動・居場所づくりの応援、長期離職や不登校から引きこもり状態になった者、生活困窮者等への居場所づくり(定期的に他者と交流する場)や社会体験・職場体験の受入に協力する。



りんくのある街の風景PV制作プロジェクト参加者より感じたこと...

色んなこと知ることができて良かったです。
レールセンターが100年以上前のものだったり、ウワサには聞いてたけどきじまるくんの美味しさ、炭鉱の記憶、千人おどりの神輿のきらびやかじゃない暖色系の色が夕闇に浮かぶさまの何とも言えない良さだったり。
あとイワくんはつらいよってこと知りましたね笑
僕たちは岩見沢の中心部の極々一部を切り取って繋ぎ合わせたにすぎないですけど、その中に沢山の"気付き"や"良さ"があったことを思うと、岩見沢全体だとどれほどの魅力が詰まっているのか、興味が湧きますね。
歌詞を考えたり、この歌詞にはどういう映像がいいのか考えたり、iPadでの製作、どれも面白かったです。
やる前は自分にできるのか、自分に向いてるのか、疑心暗鬼だったんですけど、一応かたちにはすることができたので、"やればできるじゃん"って感じで自信になりました笑



空知バブリックメンテナンス株式会社
執行役員統括部長
グループホーム「ほほえみ」「ぬくもり」
施設長

「柳 庄司 さん」

実際に見てもいい
就労まではどういう流れで？
介護の仕事内容の良いところ、悪いところを説明したうえで、実際に仕事の現場に来て、1時間か2時間見学してもらいました。そして、もし希望があれば、働いてみませんか、というところから始まりました。今では、その内の1人が「働いてみたいです」ということで、実際に2年近く働いています。

25人の方が、自分に合った仕事を見つけていることができたとありますが、この結果はりんくの方力だけではありません。職場見学や体験を積極的に受け入れてくれた、企業の協力があつたからこそその結果でもあります。そこで今回は、協力してくれている企業の一つである、空知バブリックメンテナンス株式会社の「柳庄司さん」にいろいろ話を聞いてみました。

りんくの利用者は、昔、引きこもっていた方が多く、「コミュニケーション不足」も、苦手な方が多いと思うんですが…
最初はどうかと思っただけですが、りんくの利用者という話をしたときに、興味を持ってくださいました。なので、別段他の人と変わりない。私は思っています。うちは、介護だけじゃなくて、清掃業務なども手広くやっているんですが、そういうところだと朝起きるのが苦手だとい



りんく利用者の作品

失業中でこの先が不安、人と関わるのが苦手、家族のことで困っている、心の病で働くのが難しいなど、人はさまざまな悩みを抱えています。そういった悩みを抱えている方のチカラになってくれるのが、岩見沢市生活サポートセンターりんく。今月号は、りんくの無料職業紹介所にスポットを当て、実際に雇用した企業の方、利用して就労した方の声を聞いてみました。
問合先 市保護課管理グループ

りんく相談員が出演して説明します
8月4日(金) 午後5時40分
岩見沢発信の生活情報誌"これって8月号"でも紹介されています

職種別就労者数

単位：人

職種	人数
選果場	4
清掃	9
介護	1
警備	2
農作業	1
製造	7
調理	1
合計	25

うちの場合は「紹介したからすぐ働いてくれ」ではなく、本人に働けるかどうか実際に見ってもらって、あとは本人に決めてもらう形です。

さまざまな配慮を

実際に働くに当たって

実際に働いている人は人手不足で、働くに当たっていろいろな心配え、まづは必要になってくるんですが、まずは、お年寄りが好きかどうかかなです。よね。

それと、グループホームでは、ヘルパーの資格が無くてもいいんですが、1カ月くらい働いていると、ヘルパーの資格を取りたいという人が多いんです。なので、働きながら資格を取りたいという人には、会社でバックアップをしています。



岩見沢市生活サポートセンターりんく
センター長 湯澤 真吾 さん

たくさんの方の協力のもと
りんくが無料職業紹介所を始め、1年以上が経ちました。この間、どれだけの方がどういった仕事に就いたのでしょつか。

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 6 月の間で、25 人の方がりんくの無料職業紹介所を利用して、就労しています



りんくを利用して就労した方の声

りんくを利用して初めての感想

引きこもりから脱出できたのは良かったです。最初は、どうせまたすぐに引きこもるだろうなと思っていましたが、りんくに来てみて、私みたいに引きこもっていた人が、他にもいると思わなかったです。

これまでの就職活動と、りんくの就労支援の違い

これまではフルタイムの仕事をしていましたが、すぐに体を壊して辞めてしまいました。りんくに来てから就いた今の仕事は、3から6時間の仕事なので、現在9カ月続いています。体が弱い自分も、仕事ができるんだなと思いました。

就職してみた率直な感想

いつの間にか、ネガティブな発想があまり出てこなくなり、体を壊すこともなくなりました。

りんくの職員が具体的なアドバイスをしてくれるので、安心して仕事や生活ができるようになりました。

りんくでは、私の希望をしっかり受け止めてくれて、仕事探しや面接練習など、個別にサポートしてくれました。就職面接にも同席してくれたので、落ち着いて受け答えすることができました。会社も私の事を理解してくれて、負担がかかり過ぎないように仕事を配分してくれています。長く働いてほしいとも言われていてとても感謝しています

働き始めて7カ月が経ちました。初めの頃は覚えることがたくさんありましたが、職場の人たちに相談したり、りんくの職員が愚痴を聞いてくれたりしてくれて、どうにか乗り切ることができました。今月、人生初のボーナスをいただき、りんくの職員もみんな喜んでくれて、とても嬉しかったです。

その人に合った働き方

職場見学や体験を経て、雇用主がその人に合った就労時間、業務内容を選定し、仕事の切り出しを行う企業も増えてきています

あらゆる不安を軽減

面接での不安を無くすために、希望者には企業の了解の元、りんく支援員が面接に同席し、お手伝いします

りんくの就労支援

就労後の定着支援

就労した企業へ定期的に訪問したり、雇用主、就労者、りんく支援員の三者面談で、不安を聴いたりして、職場環境改善のお手伝いをします

仕事内容を体験

「働いてみたら思ったのと違うなあ」ということを防ぐために、面接前に職場見学や体験を行います

りんくの就労支援の特徴
協力企業の方、就労した方の話を聞いて、りんくの無料職業紹介所の特徴が見えてきました。



ハローワークとの違い

りんくの利用者雇用しようと思った決め手は？

介護について興味があるという熱意ですね。例えばハローワークだと、面接で仕事内容を説明し、採用を決めるんですよ。それに加えてりんく

う人には、お互いに話し合っ、「午後からの清掃に変えますか？」などの提案はしています。あと、例えば、「この曜日が大めだけ、この曜日は働ける」だとか、やっぱり本人と話をして、本人がどういう風にしたいのかを聞くので、「あれはだめ、これはだめ」っていうのはないです。その人に合った働き方という考えですね。

他の会社では、敬遠される人物かもしれないんですけど、うちは本人のさまざまな事情にも配慮してやっています。

実際、介護の現場はアットホームな雰囲気、話すのが苦手な人でも施設の利用者から話しかけてくることが多いので、自然とコミュニケーションが取れるんですよ。



は事前に見に来てもらって、体験してもらえるので、働いてから思ったのと違うっていうことが少ないんです。

理解ある企業を増やすためにはどうしたらいいでしょうか？

やっぱり、りんくの職員が、いろいろなところに足を運ぶしかないと思います。雇用側は抵抗があると思うんですけどね。うちの場合は、仕事の相手が介護施設の利用者なので、経験のない人にはって思うんですけど、私は、利用者と話せる人だったら経験は関係ないと思います。

見学して、仕事内容を本人が理解して、企業も納得してくれば、スムーズに就労に流れていくと思います。

協力してくれている企業のおかげで、無料職業紹介所が成り立っているんだね！



協力企業のメリット

りんくの無料職業紹介所に協力する企業には、何かメリットはあるのでしょうか？

●面接の前に仕事内容の説明や、職場見学をし、働く前と働いた後のギャップを無くして、採用した後、思っていたのと違うという理由ですぐ辞めてしまう人を減らすことができます
●面接だけではなく、企業の協力により、事前に職場見学や体験などができるので、企業として働く人がどんな人なのか想像がしやすい
●企業が働いてくれる人を探す場合は、りんくに直接問い合わせをすればいいので、求人チラシを出すなどの手間が省ける



りんくの無料職業紹介所が、企業が必要としている人材との出会いをお手伝いします！協力していただける企業はぜひ、りんくまでご連絡ください！